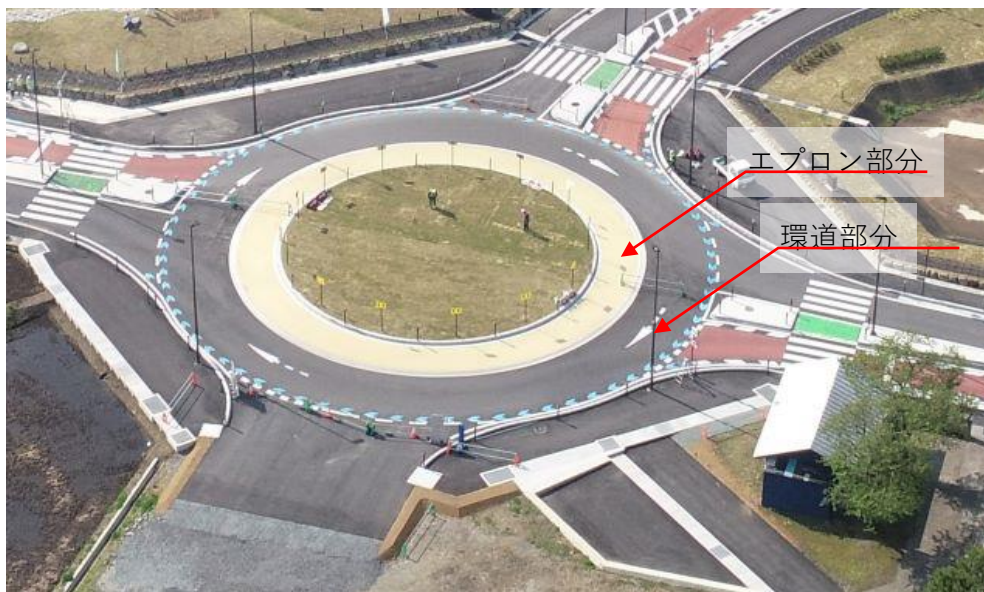
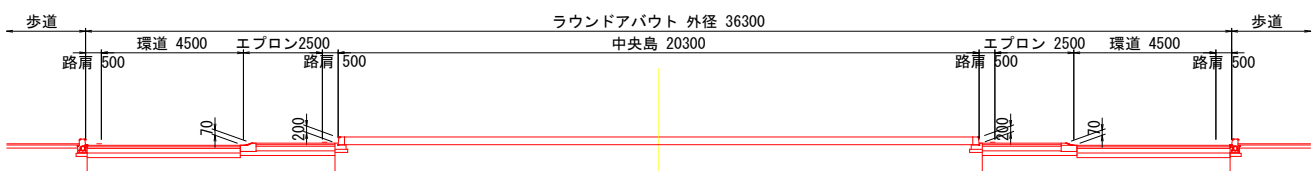
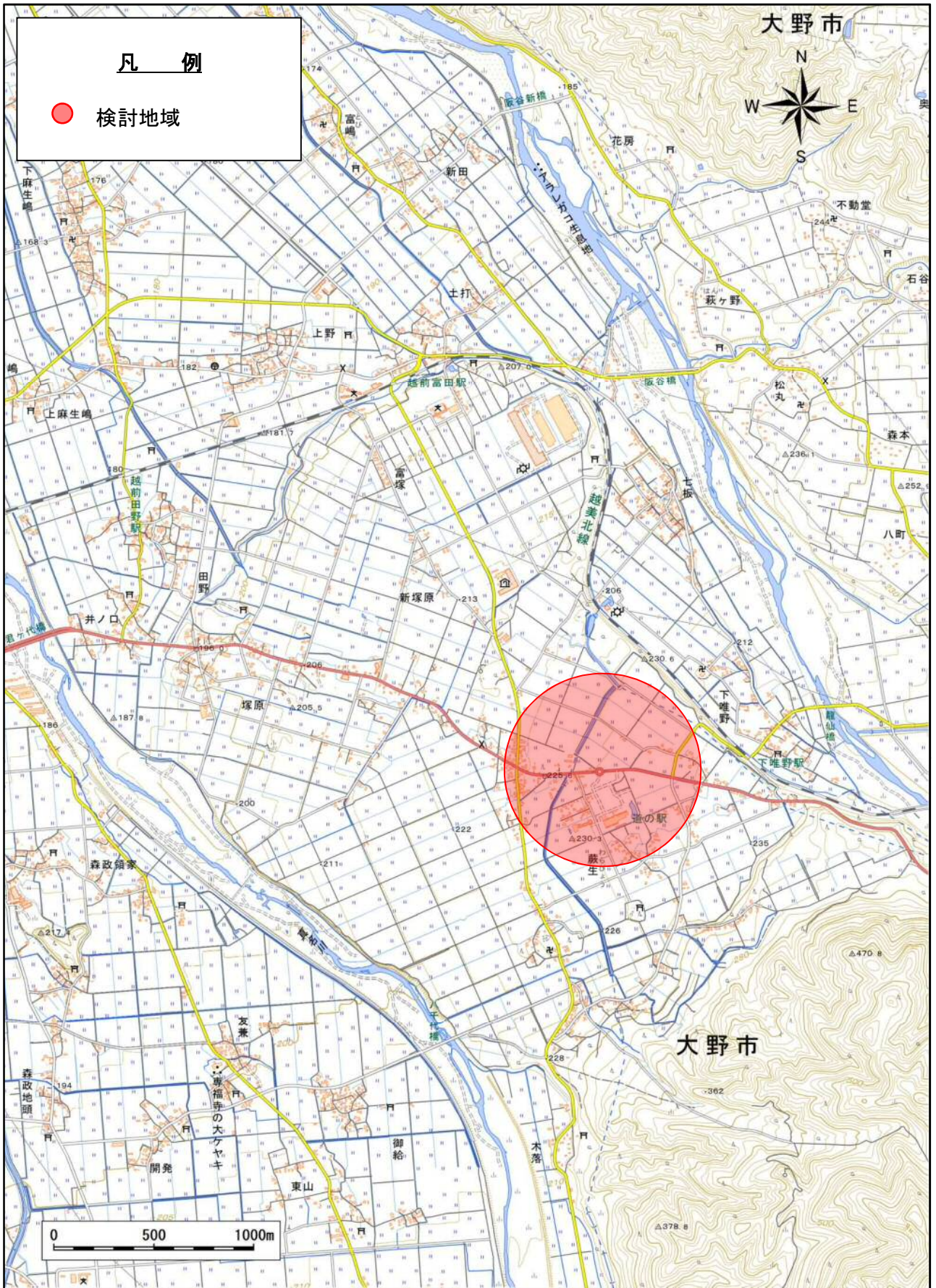


件名	国道158号蕨生地係融雪設備の設置に伴う地下水の使用について
事業目的・必要性	エプロン部分と環道部分に段差があり、通常の機械除雪では複数回除雪する必要があり、その間は走行を妨げることとなるため、地下水融雪装置を導入し、安全かつ円滑な交通を確保したい。
事業内容	積雪のある冬期間（12月～翌年3月）において地下水を利用した融雪装置を運用する。
実施期間	冬期間（12月～翌年3月）予定
実施場所	大野市蕨生地係
揚水能力	300ℓ/min
揚水時間	24時間
周囲への影響 (※環境・水循環課記載)	別紙「簡易シミュレーション結果」のとおり 揚水が近隣井戸に障害を与える可能性はきわめて低いと予想される。
備考	万が一、事業実施後に本業務に起因して周囲に著しい問題が発生した場合には稼働を止め原因が改善するまで稼働は行わないものとする。

ラウンドアバウト断面図
S=1:100



検討条件

計算結果

計画揚水量 (Q)	0.300 m ³ /min	距離 (半径)	水位低下量	表示色
透水量係数 (T)	0.130 m ² /min	167 m	0.01 m	
貯留係数 (S)	0.058	47 m	0.25 m	
揚水継続時間	24 時間	22 m	0.50 m	

計画井戸位置 

既存井戸位置 

